消費者団体と東京都との協働による学習会　多摩地域の消費者団体交流会

消費者がつなぐ　多摩の“農”を次世代へ！
～都市農業が拓くこれからの農業～

日時：2026年6月24日（水）14：00～16：30　参加者：34名
会場：清瀬市男女共同参画センター（アイレック）
主催：多摩地域の消費者団体交流会実行委員会　協賛：東京都消費者月間協賛事業

司会：村橋　悠さん
東京三弁護士会多摩支部

横幕玲子さん
立川市消費者団体連絡会

開会挨拶

多摩ははるか江戸の昔から、巨大な消費地である江戸へ農作物を供給するだけでなく、参勤交代で全国から集まった大名たちへ「江戸の農」を発信していました。 今を生きる私たちにとっても、農地のある風景は身近でかけがえのないものです。これを次世代へと繋いでいくために、農家のみなさんは工夫や努力を重ねていらっしゃいます。 本日は田沼さんと学生さんのお話をお聞きし、消費者として何ができるのかを考えていきたいと思います。

日本農業の現状と都市農業が果たす役割、次世代育成へ　　NPO 法人農の未来ネット　理事・事務局長　田沼　繁さん

【日本農業の現状】　農林水産省が今年3月に発表した「農林業センサス」によると、全国の農業経営体、耕地面積、労働者は大きく減少しており高齢化も加速しています。一方、東京都では消費地が近いことから、新規就農者が増加しており、農業法人や援農ボランティアも増えている。農地は多摩地域と練馬区や世田谷区、葛飾区など23区にもあり、新鮮で味や品質が良い、低農薬な農産物へのニーズが高まり地産地消が広がっている。
【都市農業について】　従来、「都市」の定義に農家は含まれていなかったが、1960年代の高度経済成長期以降、都市化の進展に伴い「都市農業」という言葉が使われ始め、2016年には「都市農業振興基本計画」が制定された。都市農業には、農作物の提供や防災、環境保全、景観の創出、学習の場などの機能がある。2019年には「世界都市農業サミット in 練馬」が開催され、ニューヨークではビルの屋上で農作物を栽培しているという先進事例を聞いた。近年、東京でも中央区や港区では屋上で稲作をするなどの取り組みが拡大している。
【日本人の満腹度】　1999 年に制定された食料・農業・農村基本法の第 2 条には「食料安全保障の確保」が定められている。しかし、現在の日本の食料自給率はわずか 38%です。飼料用のトウモロコシや食用油用の大豆、冷凍野菜など、多くの農産物を海外からの輸入に依存しているのが現状です。
【次世代育成の活動】　当会は2009年設立。私が農林水産省職員時代に農林生協理事長として埼玉産直センターとの交流から生産者と消費者をつなぐ大切さを実感したことがきっかけで法人を設立した。歴代理事長に農業経済の専門家を迎え、就農人口の増加と食料自給率の向上を目指している。その目的の下、農業体験プログラム実施やみらい体験農場の運営、「はたけっこクラブ」の支援、講演活動などを行っている。これからも「はたけっこクラブ」の支援や地産地消、旬産旬消の拡大を図っていきたい。
≪私のメッセージ≫　食料は、人が生きるために不可欠。食料を得る農業は最優先の産業。都市農業を含め、国内農業に関心を持ち生産者を支えましょう！

はたけっこクラブ取り組み報告　　立教大学　工藤大和さん、山崎璃久さん

工藤大和さん　　山崎璃久さん

参加のきっかけは、立教大学の大山ゼミナールで農業経済学を学ぶ中で、「はたけっこクラブ」へのお誘いを受けたことです。
【学んだこと、感じたこと】　農作業は天候に大きく左右され、農業の難しさがあったが、同時に、苦労して育てた作物を収穫する喜びややりがいも学んだ。また、スーパーで見かける、きれいな野菜の背景には農家の方々の様々な工夫と努力があることを知った。
【2025年度の振り返りと2026年度の活動計画】　東久留米市の篠宮農園で1年を通して種まきから収穫まで体験し、他大学の学生とも一緒に作業し交流を深めた。また、清瀬市の圃場では自分たちが育てたい野菜の栽培方法を調べ、田沼さんのご指導のもと栽培に挑戦した。さらに、先輩が収穫した野菜を秋津駅北口や清瀬市4中近くの畑でリヤカー販売を始めた。2026年度もリヤカー販売をはじめ、前年度と同様の活動に取り組んでいく。大山先生のご退官に伴いゼミが終了となるが、「農の未来ネット」とのつながりを継続させるために立教大学内に「はたけっこサークル」を立ち上げたいと考えている。

八代田道子さん
清瀬市登録消費者団体連絡会

閉会挨拶

田沼さんからは、これからの日本の農業にとって大変大切な活動についてお話しいただきました。また、学生さんたちをはじめ、これからの「農」を真剣に考えていらっしゃる多くの方々にお集まりいただき、非常に有意義な会となりました。このような会をまた開けましたらぜひご参加ください。本日はご参加いただきありがとうございました。